

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市伏見老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）の実施

2 事業実施内容

- （１）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- ・通所介護・介護予防通所介護事業実施に伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
 - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
 - ・通所介護計画に基づく個々の利用者の生活支援を目指したサービス提供
 - ・利用者の興味・関心に即して、選択できるレクリエーションを提供し、グループ活動の実践による心身機能の向上、生活の充実のための支援を行うとともに、集団でのレクリエーションを提供することによる、協調性の助長や仲間意識の醸成を図る。また、在宅生活を安全かつ継続的に送れるよう身体的、精神面での支援を行う。
 - ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との協議
 - ・サービス向上に向けた取組として、ユーザーアンケートの実施と第三者評価事業の定期受診職員に対する内外研修の積極的な取組
 - ・買い物支援サービス
 - ・地域のサロン参加者への送迎サービス

- （２）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

【職員体制】
管理者：1名 生活相談員：2名 看護師：6名 機能訓練指導員：3名
介護職員：10名 運転手：4名 配膳・調理補助員：2名 臨時職員3名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）
・デイサービスご利用者の昼食及びおやつ等の給食調理業務

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、契約については一般競争契約と随意契約により行っています。一般競争入札の場合は市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約の場合は市内中小企業に見積り合わせを依頼するようにしています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用者数

①令和6年度実績値 9,236 人

②令和7年度目標値 9,800 人

(2)実利用者数

①令和6年度実績値 1,168 件

②令和7年度目標値 1,200 件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	93,949,087
利用料収入	6,353,050
委託料収入	
補助金収入	958,360
寄付金収入	
雑収入	
その他	954,566
収入計	102,215,063

令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	69,938,298
事業費	13,414,300
委託費	
小額修繕費	
その他	9,017,824
支出計	92,370,422

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和6年7月に全利用者を対象とした法人統一のアンケートを実施。センターより必要に応じ説明の上配布し、無記名で法人事務局宛の返送による回収を行い回収率は43.1%であった。

(2) 利用者満足度把握の結果

【送迎】	満足：81.1%	やや満足：15.9%	やや不満：2.3%	不満：0%	無記入：0%
【入浴】	満足：52.3%	やや満足：25.0%	やや不満：0%	不満：4.5%	無記入：18.2%
【食事】	満足：52.3%	やや満足：36.4%	やや不満：4.5%	不満：0%	無記入：6.8%
【レクリエーション】	満足：50.0%	やや満足：25.0%	やや不満：4.5%	不満：2.3%	無記入：18.2%
【機能訓練】	満足：52.3%	やや満足：25.0%	やや不満：6.8%	不満：0%	無記入：15.9%

(3) 意見等への主な対応状況

集計結果をもとに全体で協議を行い、書面にて全利用者へ協議結果を配布した。具体的に買い物支援が特定の利用者に限られる為、全体のレクとしての買い物レクを企画した

7 その他特記事項

(1)

○企業との連携の一環として学生実習の受け入れなどを積極的に行い、次代の福祉活動の担い手づくりや福祉意識の向上に、社会的使命として取り組んでいる。

○老人福祉センター利用者有志でのボランティアサークル「ひょうたん」や伏見区老人クラブ連合会から、日常的・組織的にボランティアとして関わっていただいている。職員のみ感覚による閉鎖的な運営に陥ることのないように、日々ボランティアミーティングを行い、ボランティアからの視点で全体を見ていただいております。常に風通しのよい運営を心がけている。また、「ひょうたん」については、総会の場などにお時間をいただき、会員の皆さんとの意見懇談などを行い、その活動の充実を図っているところである。このような組織の姿勢がボランティアには親身になってご支援をいただいているなど信頼をいただいている。

○施設の広報誌として「伏見デイだより」を毎月発行および、一般の方向けの施設パンフレットを発行し、事業所の具体的な取り組みや方針、サービス内容等をよりわかりやすくのせ、地域に広めていくことにより、施設の開放性を維持している。

○館内に伏見区社協が設置されており、地域に関する情報を共有できる事、またデイサービスとして近隣地域の拠点となれるよう学区の会合などに参加することで存在感をアピール出来るなどの独自の強みを持っている。地域交流によりすこやか学級などではデイの職員が講師役にて感染予防対策の講義活動を行ったり、区社協の受託事業である「地域安心支援事業」の対象者が生活における必要なサービスとして相談を受け、利用に繋げるなど区社協との連携をもち、社協としての理念にそった活動が行えている。

○地域包括支援センターや地域の関係者と協力し、サロン開催時に一人で参加できない方への送迎サービスを月二回一年通じて実施。今年度も継続予定。

○女性会からの依頼を受けて、介護保険・通所介護サービスについての勉強会に講師として参加した。
○看護実習受け入れ、チャレンジ就労体験の受け入れを継続している

(2)

○法人で取り組んでいる「チャレンジ就労体験事業」は積極的な受け入れを継続しておりその成果を上げているところである。特に、介護職を希望する体験卒業者を職員として採用しているなどしており、就労自立の一助を担っている。加えて障がい者雇用に関しても積極的に迎え入れられるような職場環境の構築と、業務内容を日々考察しております。

8 評価（指定管理者自己評価）

数年ぶりに再開となったふしみふれあい祭りへの参加や、地域のサロンの送迎、女性会からの依頼を受けて勉強会に講師を派遣するなど地域との関りが広がった一年になった。また、新たにフラワーアレンジメントの講師に来てもらうようにしたことも新しい取り組みとして参加者を集めることが出来、地域の方の活動の場の確保、デイの内容の充実にいい影響を与えたと思う。8月と1月にコロナ感染者が増えた時期もあったが感染対策を行い乗り切ることが出来た。感染対策については今後も十分注意して行きたいと考えている。